

# 八乙女

第32回

八乙女フェスティバル



人々に南砺平野の豊の秋

武田東洋子



壮年部 小橋 昭夫

八月十五日、恒例の八乙女フェスティバルの会場準備が午後四時半頃から各種団体の役員総出で行われ、提灯の設置、舞台の飾り付け、行燈の設置、各種団体の模擬店の設置など、手際よく進められました。

昨年は準備段階から雨にたたられましたでしたが、今年は何んとか天候にも恵まれ、六時半頃には準備万端整いました。その頃に空からポツリポツリと雨が落ちて一時はどうなるかと心配し、慌ててテントの設置もしましたが、開催する頃には、皆様の熱気と活力に押され天候も回復し、行燈に火が入り回りを照らす頃には地区の皆様がぞくぞくと会場に集まり、民謡に合わせて盆踊りが始まりました。横では各種団体の模擬店が店開きし、金魚すくい・輪投げ・ピアガーデン等、威勢のいいスタッフの掛け声が飛び交い、行列の出来る賑わいを見せていました。

八時からは昨年同様に加賀山 昭社中の皆さん方の情緒豊かな歌声、三味線の響きが会場一杯に広がる頃、会場は最高潮と成りました。

会場からのリクエストなども取り入れられ、喝采の拍手が鳴り響き、最後には上空に火花が打ち上げられ、恒例の抽選会も行われて、当たり番号の発表が読み上げられるたびに歓声が上がりました。

九時半ごろには景品交換も終了し、後かたづけが始まり、十時過ぎにはかたづけも終了し、その後反省会も開催されました。

この行事を行うに当たり各種団体など、地区の皆様や会員の協力で感謝申し上げますと共に、来年も同様に盛会で有りますように。

第30回

町内対抗

ソフトバレーボール大会



ます。その中でわが沖Aチームは前年度優勝の清玄寺チームと予選リーグで対戦し、得失点差で辛くも勝利することができ、結果として三年ぶり

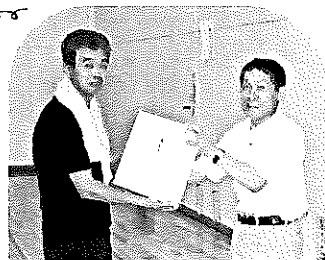
に優勝杯を持ち帰ることが出来ました。この優勝杯には第一回からの優勝チームのリボンが取り付けてあり、記念すべき三〇回大会に沖のリボンを取り付け出来ることを大変光栄に思います。参加いただいた選手の皆様や運営関係の方々、どうもありがとうございました。(沖町内会長 高嶋典之)

お盆恒例のこの大会も今年で三十回を迎えました。例年よりも涼しい気候のもとで昨年同様十二チームの参加があり、四つのリーグに分かれて予選リーグを戦いました。今回より時間短縮のため予選リーグは二セットマッチで行なわれ、勝敗の決定に多少とまどう面はありましたが、選手の皆さんは二セットに集中できたのではないかと思

第26回 地区町内対抗

ビーチボール大会

第26回ビーチボール大会が7月7日より3日間にわたって実施されました。今年の参加チームは、14チームです。暑い季節の開催ですが、体育館に賑やかな声がひびき今回も楽しい大会となりました。成績は次のとおりです。



(事務局)

成績

- 一位 院瀬見第四チーム
- 二位 沖Dチーム
- 三位 谷チーム



八月十八日に呉羽青少年の家で第33回富山県花とみどりの少年団「リーダー研修」に山本拓実君、川縁拳大君、山本航大君の三人が参加しました。研修は、一、緑(森林)の持ついろいろな働きについて学ぶ。二、団員たちが体験を通して仲間意識を高める。三、リーダーとしての教養を身につける。といった目的で県内の花とみどりの少年団が研修に参加していました。午前中には、開講式の後、上平花とみどりの少年団の活動報告を聞きました。小冊子の「とよまの森の教本」による自分たちの生活と自然のかわりがある「森のはたらき」について学習しました。その最後に団員の方から普段から疑問に思う自然の仕組みについて質問が幾つかあり回答されました。

第33回富山県花とみどりの少年団「リーダー研修」に参加して

児童クラブ 瀧田 豊史

午後からは、野外研修「森林体験ゲーム」が青少年の家森林内で七グループに別れレクリエーションゲームを取り入れた森について研修しました。午前中は他の団員とのコミュニケーションは、少なかつたのですが、この時間は多く取れたと思いました。また、南山見地区にもみどりはたくさんありますが、このような遊びをする機会というのが減っているのかと思いました。車に乗って遊びに行くことばかりでなく、身近なところで「あそび」があるのでないかとも思いました。このような体験は、子供達に年に一、二回くらいできればよいと思います。大人もリフレッシュできると思います。



9月27日、第32回南山見地区体育祭が晴天の下  
 (日頃の行いが良かったのか?) 才川市議より力強い御祝辞を頂き開催されました。

### 第32回南山見地区

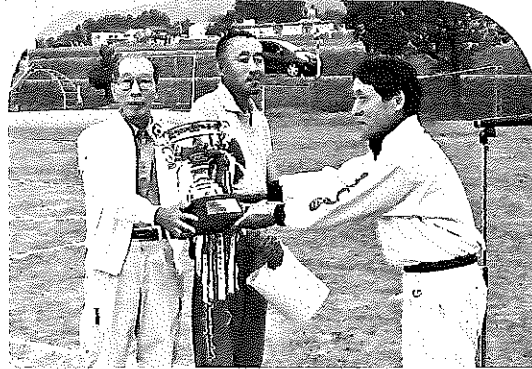
# 体育祭



我々四組は、戸板、川原崎、里領と三町内合同で一チーム作っています。が、選手選考には他の組同様苦労しました。今年は、戸板が当番町ということで、監督をさせてもらいました。

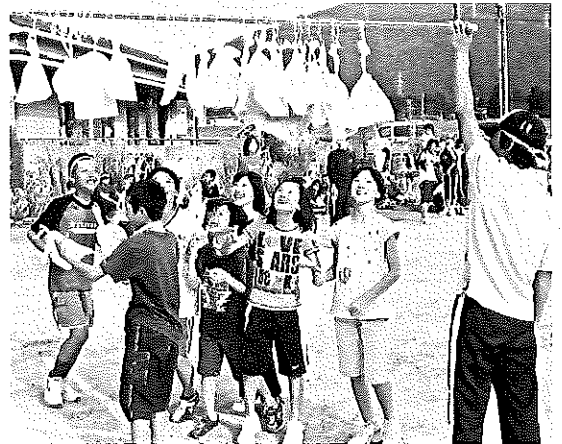
町内会長をさせていただいたその年に総合優勝、そして年代別リレーも優勝とはいかなる事か? そしてボールけりレースと綱引きが最下位にもかかわらず、玉入れと年代別リレーが一位の時に、ボーナス得点で倍になり、これも運良く女神がほほえんでくれたようです。

井波地域全体の体育祭もなくなつた今、我々南山見地区の体育祭がこのように盛大に行なわれているのは、幸せなことだと思えます。少子高齢化、不況の中にあつて、皆々様が少しでも今生きている喜びを感じ、楽しく一日を過ご



せれば幸いです。最後に、体育祭について準備運営など、スポーツ推進委員、そして会場係及び役員スタッフの皆様、ありがとうございました。これからも地区住民の健康と親睦を深めるために、末永く続けてほしいと思えます。

(四組監督 村端幸博)



# 乗鞍岳ウォーキングと散策



小橋外喜雄

梅雨明けを思わせる暑さの厳しい七月五日、公民館行事の体力づくりレクリエーションに参加することになりました。老体に鞭打つての体力試しも「まあいいか……」と軽く返事、参加する。幸い好天に恵まれ、出発は午前六時、総勢三十八名を乗せたバスは一路、第一休憩所「道の駅細入」に到着、朝の空気を胸一杯に吸い込み、気持ち新たにアルプス街道をひた走

り三時間、車窓に映る木々は広葉樹から針葉樹に変わり雲の中へ、雲の上へ出ると今まで見たこともない高山植物が我々を迎えてくれる。

とても愛らしく私たちを楽しませてくれる。

最終駅の畳平駐車場(二七〇二四)に到着、前方にコロナ研究所の丸いドームがひときわ目立ち、左手の一面には朝日岳の雪渓を間近にして乗鞍岳の頂上の剣ヶ峰(三〇二六m)は雲海に阻まれ時々かすんで見える。コースは登頂目指す組と高山植物散策コースに別れ、リタイヤ覚悟の登頂だが途中の雪渓の滑落注意もあり興奮する気持ちを抑えての出発だった。

途中バスを下車しての散策、特にハイマツの影に寄り添うように咲いているキバナシヤクナゲや可憐な花を咲かせている黒ユリ等、

幸いベテラン登山家の指導も良く、最初は緩やかな登山道だったが、雪渓にさしかかるとさすがに緊張、マイペースでどうにか横断、ここから火山礫の嫌なのぼりが始まる。空気も希薄化、吐く息が荒々しくなり、最後のガレ場を登りきって山頂(標高三〇二六m)、さえぎるものは何もない三六〇度眺望がなんともいえない感動の瞬間だった。木曾御岳、中央アルプス、富士山をも一望出来る日もあると聞きながら大パノラマを背に

## 乗鞍岳へ行ってきました

井上智子

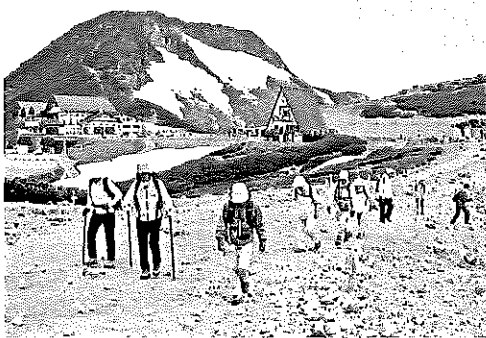
しての昼食、休憩もそこそこ下山、頂上を目指した剣ヶ峰を背に時々自分の足跡を確認するがごとくバス駐車場へ下る。途中の平湯温泉では充分一日の汗を洗い流し、ひと時の余韻を残して一路バスは帰路へ、バス内はピンゴゲムを楽しみながらの道中、予定の時間に公民館前到着。良い思い出作りをしていただいた方々に感謝し、明日に疲れが残らないよう祈りつつ家路に着きました。

梅雨真つ只中の七月五日、乗鞍岳ウォーキング体力づくりに孫と参加。幸いにも天候に恵まれ、早朝公民館を発ち、現地に十時頃到着。お花畑散策、頂上登山、少し低い富士見岳登山コースをガイドの下、グループに分かれた。頂上登山は雪渓もあり体力が要りそうだった。

数日前に乗鞍岳バスターミナル畳平からお花畑への遊歩道が除雪、その雪の壁に触れ

も出、四方八方が見渡せ、近くの大雪渓ではスキーヤーが見え隠れしていた。私達グループだけだったので、少し窮屈だがお弁当を開き、下界の暑さに思いをはせ清々しい空気を十分満喫した。少しのハブニングは、二八一七メートルの気圧を弁当箱に閉じ込めたので、帰宅後開けられなかったこと。同行した孫が寒い、歩けない等、少し山登りがキツイ? という私も運動不足で息絶え絶え牛歩の如く……。しかし帰路、平湯温泉の露天風呂に入り疲れも吹っ飛んだ。

山岳、花、残雪、温泉ありと雄大な大自然にふれた公民館トレッキング・体力づくりの一日でした。四季を変えて訪れたい所です。

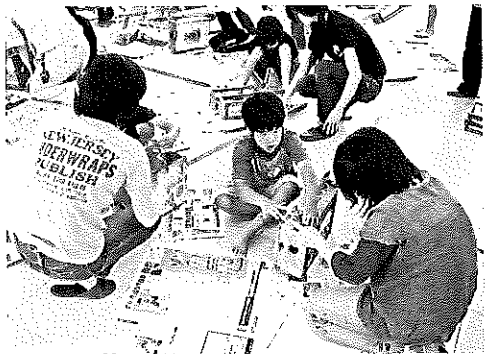




まず「花と緑の銀行」の方に指導を受けながらプランターに四種類の花の苗を植えました。公民館の玄関先を色とりどりの花で飾り、皆の目をなごませてくれることと思っております。

# 花だんづくり・行灯づくり

六月六日(土)「南山見児童クラブ&井波花とみどりの少年団」で花だんづくりと行灯づくりを行いました。当日は37名の参加がありました。



次に行灯作りを行ないました。家で描いてきた下絵にろう引きしてから色を塗りました。一年生はろう引きは初めてとあって苦戦していましたが、学年が上がるにつれ色使いにも工夫が見られました。最後に木枠に各自でのり付けをして仕上げました。

(母親クラブ 吉田智花香)

## ミニマラソン ラジオ体操の集い 教育懇談会

7月25日、南山見地区恒例の三世代交流ラジオ体操の集いを行いました。



あいにくの曇り空でしたが、親子三世代約百名余りの参加者がグラウンドに広がり、体操が始まりました。

ミニマラソンでは、一番になろうと頑張って走る子や、友達と仲良く走る子、子供に負けじと全力で走る親御さんなど様々でしたが、汗を流した参加者全員のすがすがしい顔が見受けられました。

日を変えて七月二十九日、南山見公民館において、「親として、大人として」を演題

に今年井波小学校に赴任された神田校長先生をお招きして教育懇談会を行いました。

学校や子供達の現状や問題点等、普段聞くことのできない話の中で、子供を持つ親の一人として考えさせられる点多々ありました。意見交換では多くの質問や意見が飛び交い、皆さんの青少年育成に対する熱心な気持ちを感じられた教育懇談会でした。

(青少年育成市民会議 村松慶孝)



環境美化活動

地区内一斉防除

詩人宮沢賢治の「雨にも負けず、風にも負けず」とある



米寿  
おめでと〜ございます

- 院瀬見第二 篠原笑子
- 川原崎 森 千代
- 五 領 池田ハナ
- 院瀬見第四 吉田文二
- 院瀬見第三 山本イヌ
- 連代寺 箭原たか
- 連代寺 山本しず
- 院瀬見第四 山本助次



が、今年の環境美化活動は、「雨にも負けず、又雨にも負けて」前代未聞の二週続けて延期となりました。ようやく三週目の日曜日は天候にも恵まれましたが、院瀬見青年会が研修旅行の為、院瀬見を除いた地区を散布することになりました。院瀬見地区においては、一週遅れの日曜日に散布、ようやくすべての地区の散布を終えることができました。

延び延びになったにもかかわらず、窓の開閉、洗たく物の出し入れにご協力下さった地区のみなさん、そして、散布をしてくれた22名の成年部員のみなさん、本当にありがとうございました。

(成年部 前川 聡)

南山見老連  
高齢者教室一日研修

本年度は日帰り研修旅行を実施することが出来ました。

丁度九月定例議  
会が九月十四日  
より開催され、  
十六日は一般  
質問日となり  
なり、私達は  
傍聴することに  
なり、私達は  
したが、議堂  
前では石井知  
事と山辺県議  
と一緒記念撮  
影を致しました。

次に北日本新聞社越中座を見学し、昔から今日までの歴史をはじめ、今日の出来事を超高速オフセット輪転機で一時間に十八万部の新聞がより速く、美しく印刷できる最新鋭機で、明早朝に家庭まで宅配されています。今後は感謝しながら読みたいと思います。

次には、ますの寿し本舗源本店で昼食及び工場見学し、岩瀬に向けて出発する。北前船回船問屋「森家」は日本海で活躍した北前船による交易は幕末から明治にかけて東岩瀬港は最盛期であった、北海道上方と盛んに交易し、東岩瀬に多くの富と文化をもたらしたと説明を聞き、その後、藩政時代の回船問屋群の町並

お知らせ

- 10月中旬〜 第11回町内対抗 スーパーキックベースボール大会
- 10月25日(日) 南山見地区防災訓練
- 11月15日(日) 第32回地区八乙女文化祭 農産物品評会
- 12月中旬 児童クラブクリスマス会の集い 花とみどりの少年団 花だんづくり
- 22年1月4日 新年の集い

みを散策し、南山見公民館に向けて帰つて来ました。大勢のご参加をいただきました。ありがとうございます。

(高齢者学級長 前川哲郎)

社会奉仕

九月二十日は全国社会奉仕の日になみ、毎年南山見老連では地域の活動拠点である公民館・農村公園・保育園周辺の除草清掃を行なっています。

今年も大勢の会員の皆様方、保育園の父母の会の方々合わせて百名余りで、早朝六時から草刈り機十七台のエンジン音を響かせ、約一時間ほど行ないました。

参加者全員、作業後には、清々しい気持ちで一日の始ま

りを味わいました。これからも地域の環境美化に少しでもお役に立てればと思います。

(老人クラブ 滝田栄三)

編集後記

七月からずっと雨が降り、梅雨明け宣言なしの夏であった。日照時間が少なく、草だけが伸びた。秋になりようやく好天が続く、刈り入れが進んでいる。しかし赤トンボの姿が見えない。小さいころ、電線にずらりと止まり、走れば顔に当たるほどいた赤トンボはどこへ行ったのだろうか。トノサマガエルも数が激減しているという。トンボもカエルも住めるから人間も安心して住んでいける。そんな地球を取り戻したい。

(RT生)